

基 本 調 査 票

本調査票は、貴事業所の基本的な概要について記載していただくものです。

本調査票の記入日： 令和 6 年 7 月 31 日

設置・運営主体	社会福祉法人 埼玉県社会福祉事業団		
設置主体			
経営主体	社会福祉法人 埼玉県社会福祉事業団		
事業所名 (施設名)	皆光園	種別	施設入所支援
所在地	〒 366-0811 埼玉県深谷市人見 1 9 9 8		
電 話	0 4 8 - 5 7 3 - 2 0 2 1		
FAX	0 4 8 - 5 7 3 - 2 0 2 2		
Email	kaikouen@sswc-gr.jp		
URL	http://sswc-gr.jp/kaikoen/		
施設長氏名	川田 民夫		
調査対応担当者	飯島 美保 (所属、職名： 副園長)		
利用定員	50 名	開設年	昭和 51 年 4 月 1 日
理念・基本方針			
○経営理念 「埼玉県社会福祉事業団は、利用者、職員、地域社会がお互いに支えあい共に歩む施設を目指し、地域福祉に貢献します。」 ○経営方針 1. 県の福祉を支えるセーフティーネット 利用者に安心・安全で快適な生活環境を提供するとともに、手厚い支援を要する利用者を受け入れ本県福祉のセーフティーネットの役割を果たします。 2. 地域への貢献 地域共生社会の実現に向け、地域の福祉課題に積極的に対応するとともに、地域に開かれた施設運営を行います。 3. 先駆的取組の推進 国や県の福祉施策の動向を踏まえ、民間施設をリードする取り組みを行い、本県福祉の向上に貢献します。 4. 人材の確保育成 「元気・優気・根気」を旨とする愛情と高い倫理性、専門性を有する人材の確保育成に努めます。 5. 安定的な経営基盤と透明性の確保 効果的・効率的な施設経営と継続的な改善により経営基盤の安定化を図るとともに、情報公開による透明性の確保に努めます。			
開所時間 (通所施設のみ)			

【利用者の状況に関する事項】

○成人施設の場合（老人福祉サービスを除く）

18歳未満	18～20歳未満	20～25歳未満	25～30歳未満	30～35歳未満	35～40歳未満
0 名	0 名	0 名	1 名	1 名	1 名
40～45歳未満	45～50歳未満	50～55歳未満	55～60歳未満	60～65歳未満	65歳以上
2 名	1 名	4 名	7 名	10 名	20 名
					合 計
					47 名

○障害等の状況（保育所を除く）

・身体障害（障害者手帳を所持している利用者についてご記入ください。）

障害区分	1 級	2 級	3 級	4 級	5 級	6 級	7 級
視覚障害	名	名	名	名	名	名	名
聴覚又は平衡機能の障害	名	名	名	名	名	名	名
音声・言語、そしゃく機能の障害	名	名	名	名	名	名	名
肢体不自由	34 名	12 名	1 名	名	名	名	名
内部障害（心臓・腎臓、ぼうこう他）	名	名	名	名	名	名	名
重複障害（別掲）	名	名	名	名	名	名	名
合 計	34 名	12 名	1 名	名	名	名	名

※区分が異なる複数障害で等級の認定がなされている場合は「重複障害」に記入ください。

・知的障害（療育手帳を所持している利用者についてご記入ください。）

A ※	B	C
8 名	1 名	2 名

※「A」には丸付きのAを含む。

・精神障害（精神障害者保健福祉手帳を所持している利用者についてご記入ください。）

精神疾患の区分	1 級	2 級	3 級
統合失調症	名	名	名
そううつ病	2 名	名	名
非定型精神病	名	名	名
てんかん	名	名	名
中毒精神病	名	名	名
器質精神病	名	名	名
その他の精神疾患	名	名	名
合 計	2 名	名	名

○サービス利用期間の状況（保育所を除く）

～6か月未満	6か月～1年	1年～2年	2年～3年	3年～4年	4年～5年
0名	2名	7名	2名	2名	1名
5年～6年	6年～7年	7年～8年	8年～9年	9年～10年	10年～11年
0名	1名	3名	1名	1名	1名
11年～12年	12年～13年	13年～14年	14年～15年	15年～16年	16年～17年
2名	2名	1名	0名	0名	2名
17年～18年	18年～19年	19年～20年	20年以上		
0名	0名	0名	19名		

（平均利用期間： 19年）

【職員の状況に関する事項】

○成人施設の場合

	総数	施設長	事務員	主任指導員	指導員
常勤	32名	1名	3名	8名	14名
非常勤	23名	0名	0名	0名	18名
	主任介護職員	介護職員	保育士	看護師	OT、PT
常勤	0名	0名	0名	2名	1名
非常勤	0名	0名	0名	2名	0名
	栄養士	介助員	調理員等	医師	その他
常勤	1名	0名	0名	0名	2名
非常勤	0名	0名	0名	2名	1名

社会福祉士	5名（名）
介護福祉士	10名（3名）
保育士	名（名）
	名（名）
	名（名）

（非常勤職員の有資格者数は（ ）に記入）

【本来事業に併設して行っている事業】

（保育所を除く）

（例）救護施設における通所事業（定員5名）

- ・身体障害者デイサービス事業
- ・障害者歯科診療所（指定管理）
- ・聴能訓練事業（埼玉県委託事業）
- ・聴覚障害児支援センター事業（埼玉県委託事業）

【ボランティア等の受け入れに関する事項】

・令和 5 年度におけるボランティアの受け入れ数（延べ人数）

176 人

・ボランティアの業務

買い物の付添い、理美容、食事介助、サークル活動、行事等

- ・園外買い物ボランティア
- ・各種サークル活動
- ・個人ボランティア
- ・行事、理髪

【実習生の受け入れ】

・令和 5 年度における実習生の受け入れ数（実数）

社会福祉士 79 人

介護福祉士 0 人

その他 11 人

【施設の状況に関する事項】

※耐火・耐震構造は新耐震設計基準（昭和56年）に基づいて記入。

○成人施設の場合

(1) 建物面積	4580.23 m ²	
	入所(通所)者1人あたり	91.6 m ² (延べ床面積÷定員)
(2) 居室数 (入所施設の場合)	個室	54 室
	2 人部屋	0 室
	3 人部屋	0 室
	4 人部屋	0 室
	5 人以上の部屋	0 室
(3) 耐火・耐震構造	耐火	☒ 1. はい ☐ 2. いいえ
	耐震	☒ 1. はい ☐ 2. いいえ
(4) 建築(含大改築)年 令和 6 年		
(5) 主な設備	・天井走行リフター ・特殊機械浴槽 ・Wi-Fi設備 ・エレベーター ・多目的ホール	

【サービス利用者からの意見等の聴取について】

貴施設（事業所）において、提供しているサービスに対する利用者からの意見を聞くためにどのような取り組みをされていますか。具体的にご記入ください。

- ・各種委員会及び実行委員会の開催及び利用者様も参画している。
- ・利用者からの苦情要望に対する面談等による聞き取り及び迅速な対応を行っている。
- ・利用者満足度調査、嗜好調査等の実施（年1回）支援に反映している。
- ・ケアプラン票の作成（年1回）に伴い、利用者様から十分な意見を聞きとり、支援に反映している。
- ・毎月「利用者」と「サービス提供者」の双方から支援を評価している。
- ・施設内に意見箱を設置し、様々な利用者様の意見を収集。また、いただいた意見については、速やかに対応している。
- ・毎日、管理職が巡回を実施。利用者との積極的なコミュニケーションをとおして、利用者の声を聴いている。

【その他特記事項】

貴施設（事業所）の特徴的な取り組み等について具体的にご記入ください。

- (1) 安心安全な支援の推進と業務軽減
重度化、高齢化が進む中で、利用者様の身体負担の軽減及び職員の業務軽減、業務の効率化を図る為に積極的に取り組みを行っている。（導入実績：自動体位交換ベッド、見守りセンサー付きベッド、インカム機器、支援記録ソフト）
また、新棟では全室個室となり、全居室、浴室、トイレに天井走行型リフターを整備し、利用者、支援者双方の負担軽減につながっている。
- (2) 危機管理体制の推進
ヒヤリハット報告の推進により、職員間で水平展開し、対応策の検討を図り改善につなげている。これらの報告の積み重ねにより大きな事故への未然防止につなげている。
- (3) 栄養ケアマネジメント及び機能訓練の実施
管理栄養士、サビ管、看護師、支援員等が連携し、嚥下状況や栄養状態に応じた食事の提供を行い、利用者本人の意向に沿った食事の提供を目指し取り組んでいる。個別支援計画を一体的に捉えた栄養ケアマネジメントを策定し、食事面から健康及び生活をサポートした栄養支援を行っている。
また、理学療法士による機能訓練を実施し、身体機能維持に努めている。個別訓練をとおして、身体機能の維持だけでなく、対話を交えながら精神面でのケアにもつながっている。
- (4) 職員の人材育成
先輩職員による細やかなOJT等により、正規・非正規を問わず、職員を育成していくシステムと意識が浸透している。チューター制度を導入している。外部研修等についても可能な限り、積極的に参加している。
- (5) 虐待防止・権利擁護意識の向上
全職員を対象に施設内で虐待防止研修を実施している。また、年2回法人全体で実施しているセルフチェックを通して、職員に日々の支援の振り返りを促すとともに意識の徹底を図っている。施設の課題を明確にし改善策を立て、取り組んでいる。グループワークを中心とした研修体系を設け、職員相互に事例を基にした意見交換の場になっている。皆光園全体で取り組むことにより、複数の職種間で多角的な物の見方が出来る点も特徴の一つである。

【第三者評価の受審状況】

- ・受審回数（前回の受審時期）

2 回 （令和 3 年度）